

あけぼの町内会 50年の歩み

町内会訪問 「あけぼの町内会」

あけぼの町内会 会長 津元克比古

あけぼの町内会の発足は、昭和50年(1975年)4月1日となっています。令和7年4月には、あけぼの町内会設立50周年を迎えます。初代会長には大槻儀氏が就任し、あけぼの町内会としての活動が始まりました。現役員としては西岡由美子氏が昭和56年度から婦人部長、副会長として40年間務め、現在も相談役として頑張っています。また、百井達雄氏は昭和60年度から教育文化副部長、会長、顧問を29年間務めました。津元克比古は平成29年度から会長を務めています。現在のあけぼの町内会の事業は、会員相互の親睦と福利の増進を図り、明るく住みよい地域を目指し、新年会、日帰りレクリエーション、女性部の日帰り研修会、花壇部による街路樹マスの花植えと水やり、こども夏祭り、資源回収、自主防災訓練などいろいろな事業を実施し、現在、50周年記念事業に向けて準備をしております。



日帰りレク

タイムカプセルは4年後に!!

町内会訪問 「南郷東町内会」

南郷東町内会 会長 多田 慶一

昭和34年(1959年)54戸で発足、65年が経過し、南郷通の整備、地下鉄南郷13丁目駅開設等で飛躍的に発展、現在は1,400世帯ほどの地域です。町内会は当初の戸建てが激減しマンション・アパートが70%弱となり、加入率は50% 720世帯であります。名称は南郷地区の一番東に位置するところから南郷東町内会となりました。組織は、総務・会計・女性・防犯・環境・厚生・防災の7部、班は30班で毎月定例役員会(班長会議)を開催し、行政からの資料配布と毎月発行の町内会ニュースで情報提供をしています。主な行事として厚生部・女性部主管のピクニックがあり、バス2台で行くブドウ狩りが恒例です。パーク南郷東(パークゴルフ愛好会)は健康増進とふれあい交流で毎月定例会を開催し楽しんでいます。排雪事業は、区との共同によるパートナーシップ排雪事業の実施、と事業目的として会則に載っているのが特徴です。町内会には二つの公園があり、12丁目南のあおい公園にタイムカプセルが埋設されています。35周年記念事業として平成6年(1994年)公園リニューアルのとき公園中央にマウントスライダーを設置し、その中に埋め込まれました。開封は創立70周年令和11年(2029年)なので、あと4年後が楽しみです。



南郷東あおい公園
マウントスライダー

費用負担で町内の街灯は全て市に移管し、担い手不足から毎月第二日曜日の資源回収は業者委託で実施、広報さっぽろの配布は早くから区に移管をしており、高齢化とともに、単身者用アパート、マンションが増加し町内会加入率も低下、また、他の町内会同様に役員のなり手不足が大きな問題となっていますが、一人一人が、ここに住んで良かった、ずっとここに住んで居たい、という気持ちになるよう、安心安全で開かれた町内会を目指していきます。

日帰りレクで町内会活性化!!

町内会訪問 「東栄会」

東栄会 会長 辻 直則

東栄会は国道12号線を中心として南北一本目までの道路と南は10丁目から12丁目まで、北は10丁目から月寒川までの細長い地域です。国道沿には企業が多く住宅は少なく200世帯ほどの小さな町内会です。その歴史は古く、12号線沿いの農家を中心となってできたそうですが、残念ながら資料が残っておりません。活動は町連行事の参加が中心となっており、町内会活動の最大のイベントは日帰りレクです。今年は思い切って「仁木のさくらんぼ狩りとカキ番屋でのバーベキュー」と題して寿都町まで出かけてきました。食べ放題で参加の皆様には大変喜んで頂き、親睦が深まりました。コロナが長く続いたことで会員の皆さんの外へ出たい気持ちを強く感じていますので来年も準備したいと思います。そして新しい参加者を得て活動の一翼を担っていただきたい、そんな思いで活動しております。

これからも東栄会をよろしくお願いいたします。



カキ番屋